

平成30年度 経営発達支援計画評価委員会 報告書

経営発達支援計画とは

小規模事業者の持続的発展を図ることを目的に、商工会議所・商工会が、小規模事業者による事業計画の作成及びその着実な実施を支援することや、地域活性化につながる展示会開催等の面的な取組みを促進するため、小規模事業者の技術の向上、新たな事業の分野の開拓その他の小規模事業者の経営の発達に特に資する支援計画を「経営発達支援計画」として経済産業大臣に申請し、認定する仕組みのことであります。

刈谷商工会議所は、平成30年3月に経済産業大臣の認定を受け、平成30年度から5ヶ年計画に基づき、主に経営指導員5名が経営発達支援事業を実施しております。

支援の対象となる小規模事業者とは

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	従業員20人以下
商業・サービス業	従業員5人以下

※刈谷市内には、「平成28年の経済センサス活動調査」によると3,305件の事業所がございます。

次ページより、平成30年度の「Ⅰ. 経営発達支援事業の内容について」「Ⅱ. 地域経済の活性化に資する取り組みについて」「Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組について」を報告します。

【評価基準】

- A：目標を達成することができた。(100%以上)
- B：目標を概ね達成することができた。(80%～99%)
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%～79%)
- D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)

【評価方法】

目標数値に対する達成度を目安としてA～Dの評価を行い、「評価内容」欄にA～Dそれぞれの評価を行った評価委員の人数を記載します。また、枠外に評価委員から挙げた実施内容に関する評価、問題点・課題、改善への提言等を掲載します。

(敬称略)

評価委員			
1	委員長	刈谷商工会議所副会頭	鈴木 豊
2	委員	刈谷モノづくり大学専門家 中小企業診断士	神谷 正仁
3	委員	刈谷モノづくり大学専門家 中小企業診断士	照井 清一
4	委員	刈谷市産業環境部商工業振興課 係長	川口 泰治
5	委員	刈谷市産業環境部商工業振興課 主査	久米 卓哉
6	委員	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 主任研究員	太田 幸伸
7	委員	日本政策金融公庫岡崎支店 国民生活事業 融資第二課長	立見 大作
8	委員	日本政策金融公庫岡崎支店 国民生活事業 課長代理	浜崎 大
9	委員	愛知県信用保証協会 経営支援部 次長	鈴木 康司

I. 経営発達支援計画の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

【事業内容】

(1) LOBO調査（※補足資料① P.1~2）

商工会議所LOBO調査（早期景気観測）とは、商工会議所のネットワークのもと、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景気感」を毎月調査するもので、刈谷市管内の経済動向を的確に把握するため、刈谷市内の5業種（製造業、建設業、卸売業、サービス業）の100企業の対象企業（うち小規模事業者50社）に対してFAXで調査依頼・回収を行った。

（平成31年2月分実績）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	計
調査対象数	21	15	13	13	24	86
うち小規模事業者数	12	10	11	10	12	55

(2) 外部支援機関が行う経済動向調査（※補足資料②-1、2 P.3~13）

「中部経済産業局 管内総合経済動向調査」や「東海財務局 県内経済情勢報告」の公表資料を収集し、経営指導に役立てた。

(3) 小規模事業者経済動向調査（※補足資料③ P.14~15）

当所では、決算指導会に参加する小規模事業者に対して、「売上・利益など決算状況」、「小規模事業者が抱える経営課題」、「商工会議所に求める支援内容」について収集・分析をした。回答件数は176件であった。

【目標・実績・達成率】

実施内容	30年度			
	目標	実績	達成率	評価
LOBO調査	月1回	月1回	100%	A
外部支援機関が行う経済動向調査	年4回	年4回	100%	A
小規模事業者経済動向調査	年1回	年1回	100%	A

I. 経営発達支援計画の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

【評価】

A	B	C	D
7	2	0	0

【委員のコメント】

- ・小規模事業者経済動向調査においては、クロスのデータを取るのがベターだと思う。
- ・件数的には評価できる。今後の調査（小規模事業者経済動向調査）においては、回答者の年齢も調査することによって効果的な指導を可能となる。
- ・実際の事業者の状況が的確に調査されており、今後の経営指導に役立つ調査がされていても良いと思います。
- ・調査の内容や件数については良くできていると思います。もう少し調査結果を踏まえて、分析して頂けると良いと思います。
- ・3,000を超える事業所内から業種や年齢層を幅広く抽出し調査を今後とも継続していただきたい。
- ・小規模に特化した調査は少ないので、継続して頂きたい。
- ・小規模事業者の実態把握に資する有益な調査がなされている。
- ・地域（刈谷）の特性が良くわかった。
- ・全体的に厳しい調査結果となっており、支援は重要。調査内容を精査するともっと良い調査になる。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【事業内容】

経営指導員による巡回・窓口指導を通じて、小規模事業者の経営者に対してのヒアリング等により、定量面である売上・利益の増減や定性面である経営者の現状認識について聴取する「①簡易分析」を行った。

簡易分析の結果から、問題点を有する事業者が行う改善への取組や新たな事業を行う取組など、意欲ある事業者に対して、経営指導員が小規模事業者の経営者との打合せを通じて、定量面による決算書からの財務分析や定性面によるSWOT分析の「②詳細分析」を行った。

【実施内容】

①簡易分析（※補足資料④ P.16～17）

支援分類	分析数
マル経融資	25
補助金申請支援	11
ビジネス創造塾支援	16
需要動向調査支援	3
計	55

②詳細分析（※補足資料⑤ P.18）

支援分類	分析数
マル経融資	22
小規模事業者持続化補助金申請支援	9
ものづくり補助金申請支援	2
計	33

【目標・実績・達成率】

実施内容		30年度			
		目標	実績	達成率	評価
経営指導員による 経営分析件数	簡易分析	80件	55件	68.7%	C
	詳細分析	40件	33件	82.5%	B

※詳細分析は、簡易分析の内数である。

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

【評価】

A	B	C	D
3	5	1	0

【委員のコメント】

- ・経営状況分析が今後の経営改善の方向性を検討する上で必要かつ有益であることを積極的にPRすることによって実施件数を増加させたい。
- ・マル経融資後のフォローアップは日本政策金融公庫で実施。2年目以降も事業者からの依頼で分析すると良いと思われる。
- ・もう少し目標と実績が近づくように支援をお願いしたい。
- ・積極的なアプローチで目標値を達成できるようにして頂きたい。相談件数と訪問件数など実績にならなかった数値等を上げて目標達成に向けた行動をした実績を出すのもいいのでは。
- ・定性面の評価につながっている取組だと思います。ぜひ計画策定支援にもつなげて下さい。
- ・件数には表れない部分で会員の様々な支援をされている。公庫としても大変感謝している。
- ・達成率向上に努めてほしい。
- ・経営の安定だけでなく、利益増につながる支援もできるとよい。

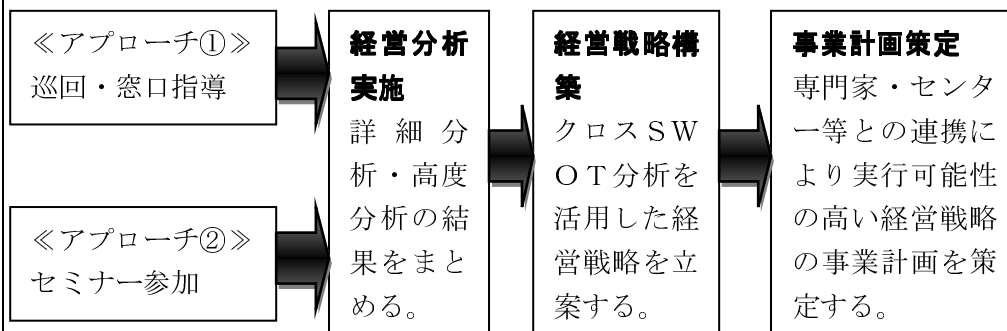
3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

【事業内容】

(1) 既存事業者向け支援

下記の2つのアプローチ(①巡回・窓口指導、②セミナー参加)及び“事業計画策定のフロー”に沿って、事業計画策定の支援を行った。

【事業計画策定のフロー】



①巡回・窓口指導を通じた事業計画策定支援

前述『2. 経営状況の分析に関すること【指針①】』で経営分析を実施した小規模事業者等に対し、巡回・窓口指導時に事業計画策定の必要性・重要性の説明・周知を行った。また、巡回・窓口指導を通じた事業計画策定の潜在的な需要の掘り起しも展開し、事業計画策定セミナーへの参加を促した。

②事業計画策定セミナーによる事業計画策定支援

下記の通り、事業計画策定セミナーを開催した。セミナーでは、事業計画の必要性・重要性などの説明・周知を行い、セミナー参加者には、刈谷商工会議所の事業計画策定支援の窓口として利用頂ける旨をPRし、事業計画策定への着手の実行率を高めた。

日時	セミナータイトル	講師	参加人員
30. 8. 21 30. 8. 31	経営の見える化で集客力・業績アップ! 事業計画策定講座	名古屋市立大学経済学部 特任教授 近藤 邦治 氏	19名 (延31名)

(2) 創業者向け支援

①創業セミナーの開催

刈谷市内での創業の促進を図るため、刈谷市と愛知県信用保証協会との共催により「創業セミナー」を開催することにより、主に、創業予定者の掘り起しを図った。セミナーの内容としては、刈谷市の補助金制度の活用や、愛知県信用保証協会の創業融資制度の活用、刈谷商工会議所の「創業支援窓口」を積極的にPRし、起業意識や計画経営の重要性などを啓発し、創業予定者の今後の創業計画策定を伴走型により支援を行った。

日時	セミナータイトル	場所	参加人員
10月6日	創業支援セミナー	刈谷市産業振興センター	10名 (9名)
1月26日	創業支援セミナー	東浦町勤労福祉会館	10名 (3名)

※ ()は刈谷市内の方です。

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

【評価】

A	B	C	D
4	5	0	0

【委員のコメント】

- ・融資申込者、補助金申請者以外にも積極的にPRしながら支援実績を伸ばしていきたい。
- ・創業セミナーについては、まず集客を優先して創業に関心のある人に来てもらってはどうか。(例：起業に成功した人、ちょっと変わったビジネスなど)
- ・創業については、実績が少ないですが、引き続き支援をお願いします。
- ・事業計画策定数について任意の策定を入れると目標達成に至るのではないかと。創業支援については、ニーズに対するアプローチ方法を検討する必要がある。セミナーから計画策定につなげるといい。
- ・マル経での支援に計画策定支援をセットすることはより効果が大きくなると思います。
- ・刈谷市は創業者が少ないという土地柄を踏まえれば、十分な支援がなされている。
- ・支援のPRを他の事業を参考にしていくとよい。金融機関との連携もあるとよいのでは。

〔目標・実績・達成率〕

(1) 既存事業者向け支援

事業計画策定事業所

支援分類	件数
マル経融資	5
小規模事業者持続化補助金申請支援	9
ものづくり補助金申請支援	2
計	16

※マル経融資の融資額 1,500 万円以上の場合、別途事業計画書の策定が必要。

実施内容	30 年度			
	目標	実績	達成率	評価
事業計画策定セミナーの開催数	1回	1回	100%	A
事業計画策定セミナー参加者数	10名	19名	190%	A
事業計画策定件数 (事業承継計画策定を含む)	20件	16件	80%	B

(2) 創業者向け支援

実施内容	30 年度			
	目標	実績	達成率	評価
創業セミナーの開催数	1回	2回	200%	A
創業セミナー参加者数	10名	20名	200%	A
創業計画策定件数	5件	1件	20%	D

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

【事業内容】

(1) 既存事業者向けフォローアップ

事業計画の策定支援を行った経営指導員が、事業計画策定後も継続してその実施状況について、3ヶ月に1回を目安に、巡回等により、事業計画の進捗状況の確認を行い、新たに生じた経営課題や経営環境の変化に対して、適宜修正を行うことで事業計画の実効性を高めた。

(2) 創業者向けフォローアップ

創業計画を策定した創業予定者に対して、創業計画通りに事業を遂行できているかを確認し、計画達成に向け指導すべく3カ月に1回を目安に、経営指導員が巡回・窓口指導を通じて個別フォローアップを行い、経営課題に応じては専門家を帯同したり、補助金の情報提供を行うなど、伴走型で支援を実施した。

【目標・実績・達成率】

(1) 既存事業者向けフォローアップ

実施内容	30年度			
	目標	実績	達成率	評価
事業計画策定フォロー件数 ※延べ策定件数×4回	80回	63回	78.75%	C

(2) 創業者向けフォローアップ

実施内容	30年度			
	目標	実績	達成率	評価
創業計画策定フォロー件数 ※延べ策定件数×4回	80回	25回	31.25%	C

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

【評価】

A	B	C	D
3	5	1	0

【委員のコメント】

- ・目標に対する達成率を高める為には会議所側からフォローアップの有効性・重要性を唱えながらフォローアップ先の掘り起しをしたい。
- ・創業向けのフォローアップは平均5件/1社と順調に実施されています。
- ・目標と実績が近づくよう支援をお願いしたい。事業者のニーズに即したフォローアップを引き続きお願いします。
- ・定期的なフォローアップをお願いしたい。特に創業者向けについては計画書内容を達成したかのチェック及び経営状況、今後の見通しなど見直す機会とし、安定した経営ができるようフォローをお願いしたい。フォローアップは今後より大切になってくると考えます。共に活動していきましょう。
- ・件数は未達だが、1社1社に対し、密度の濃い伴走型支援を行っている。
- ・創業者向けの実績増加に向けて、仕組み作りを検討してみる必要があると思う。
- ・きめ細かいフォローアップが出来ると事業者も助かると思います。相談も増えると思います。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

【事業内容】

(1) 刈谷産業まつりを活用した調査

刈谷産業まつり（11月3日（土）4日（日）開催）において、商品力・サービスの向上を図るための「アンケート調査」を実施した。

これは、企業が、実際に購買や使用をされる方の生の声や、趣味・傾向、ご意見をお聞きし、“魅力ある商品開発やサービスの向上”、需要を見据えた販売計画に活かすためのもので、募集により決まった下記の参加事業者 5社とともに、マーケットインの考えに基づき取り組んだ。



(2) 当所職員及び専門家を活用したアンケート調査

新商品・新サービスの試作段階において、消費者ニーズを取り入れるために当所職員を活用したアンケート調査を行った。

【目標・実績・達成率】

実施内容	30年度			
	目標	実績	達成率	評価
刈谷産業まつりを活用した調査事業者数	5件	5件	100%	A
当所職員及び専門家を活用したアンケート調査事業者数	5件	1件	20%	D

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

【評価】

A	B	C	D
4	5	0	0

【委員のコメント】

・アンケート調査票設計&実施調査については、会議所側がすべて実施している。事業者にとってはとても有難いことであり、大変であるとは思いますが継続実施されることを期待します。

・調査方法や回数について、ベストな方法で行っていただきたい。

・専門家を活用して調査を増やしていただきたい。

・新商品のアイデア提案は素晴らしいと思います。参考にさせていただきます。

・事業者単独では難しい消費者ニーズ等の調査を実施しており、評価できる。

・アンケートは新たな事業展開に向けて貴重な意見も収集できる。引き続き積極的に行ってほしい。

・調査は有効であるので、もっと実施してもよいのでは。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】

【事業内容】

(1) メッセナゴヤ出展支援事業

メッセナゴヤは、愛知万博の理念(環境、科学技術、国際交流)を継承する事業として2006年にスタートした「異業種交流の祭典」。業種や業態の枠を超え、幅広い分野・地域からの出展を募り、出展者と来場者相互の取引拡大、情報発信、異業種交流を図る日本最大級のビジネス展示会です。

今年度のメッセナゴヤ2018は、11月7日(水)～10日(日)、1,437社・団体の出展で、61,952名の来場を得て開催された。

(2) 商談会・ビジネスマッチング事業

①地域商談会(三河・知多会場)

地域商談会(三河・知多会場)は、三河・知多地区(半田、常滑、東海、大府、刈谷、碧南、安城、西尾、岡崎、豊田、蒲郡、豊川、豊橋)の製造業を中心とした個別面談方式による受発注商談会や、受注企業相互の情報交換を目的とした交流会を(公財)あいち産業振興機構はじめ該当地区の13会議所と連携して開催するものです。

今年度の地域商談会は、2月20日、発注企業65社、受注企業113社の参加により開催された。

②アライアンス・パートナー発掘市

アライアンス・パートナー発掘市は、愛知県内の22会議所が実施する事前調整型のビジネスマッチング支援サービスのことで、中小・小規模事業者の販路開拓と認知度の向上を図るものです。

今年度のアライアンス・パートナー発掘市は、6月18日(月)～22日(金)、457社の参加により開催された。

(3) かりや商人大学事業(※補足資料⑥)

かりや商人大学事業は、平成24年度より実施する事業であり、大型店にはない“親しみやすさ”と“対面でのコミュニケーション”を活かして、個店の事業主が講師となり、個店の魅力を市民向けにセミナーを開催することで、個店の集客力の向上と地域経済活性化を図る目的の事業です。

今年度には、全30講座開催し、延べ857名の市民の参加を頂いた。

(4) かりやビジネス創造塾事業(※補足冊子)

かりやビジネス創造塾とは、経営課題を持ち、価値観の変化を先取りするビジネスの強化(自社の優位性の追求)を目指す事業者に対し、企業価値そのものを磨き、新たな成長の道筋を提案する事業です。

今年度、25社の参加により実施した。

(5) 地元新聞・地域情報誌等による広報支援(※補足資料⑦)

小規模事業者の新品・サービス等を西三河地域に周知するために、中日新聞、中部経済新聞、キャッチネットワーク、刈谷ホームニュース等を通じて、小規模事業者の特徴ある情報を提供し、報道機関の紙面への掲載を依頼した。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】

【評価】

A	B	C	D
6	2	1	0

【委員のコメント】

・委員会開催までには結果を調べるべき。

・事業所と対象者とのマッチング事業は参加事業所にとって有益な取り組みであり、今後も積極的な継続を期待します。

・プレスリリースを本事業の中で行っており、実効性の高い素晴らしい取組だと思います。

・引き続き事業者と協力して、新たな需要の開拓をお願いします。

・概ね達成できている。ビジネス創造塾については新規参加の事業所を増やしていただき、多くの事業者に参加していただきたい。

・かりや商人大学は特徴のある取組で、商人側も自分の事業を知っていただく機会にもなり素晴らしいと思います。

・ビジネスマッチングや販路開拓支援など、新たな需要開拓に資する支援がなされており、評価できる。

・事業者にとって自社をPRできる場である。継続して実施して欲しい。

・商談成約件数で難がある。何か対策できるとよい。

〔目標・実績・達成率〕

施内容		30年度			
		目標	実績	達成率	評価
メッセナゴヤ	出展事業者数	5	4	80%	B
	商談成約件数	1	0	0%	D
地域商談会	参加事業者数	10	11	110%	A
	商談成約件数	2	調査中	—	—
アライアンス・パートナー 発掘市	参加事業者数	10	9	90%	B
	商談成約件数	2	0	0%	D
かりや商人大 学	参加事業者数	25	28	112%	A
	売上アップ事業所数	5	調査中	—	—
かりやビジネ ス創造塾事業	参加事業者数	25	25	100%	A
	売上アップ事業所数	5	調査中	—	—
地元新聞・地 域情報誌広報 支援	事業者数	5	5	100%	A
	売上アップ事業所数	1	1	100%	A

※実績は刈谷市内の企業です。

II. 地域経済の活性化に資する取組

(1) 中心市街地の活性化

①中心市街地活性化委員会の開催

日時	協議テーマ
31 3. 28	(1) J R 刈谷駅総合改善事業について (2) 刈谷駅北地区整備事業について (3) 刈谷市駅前市街地再開発事業について (4) 活性化推進団体の取組みについて

②中心市街地活性化事業の推進

刈谷市都心交流エリア活性化協議会ワークショップ（毎月開催）

一部協議テーマを抜粋

日時	協議テーマ
30. 12. 18	(1) 花と蝶のパトロール (2) さくらカフェ&手づくり市 (3) スペース Aqua プロジェクト (4) 年末ふれあいフェスタ桜地区餅つき大会 (5) 商店街イルミネーション事業 (6) 愛教大連携事業 アート展示 (7) 刈谷駅前商店街サンタクロースイベント (8) 第9回カリアンゼミ

③商店街集客イベント等による地域経済活性化と、魅力ある個店の育 かりや商業まつり

主 催	刈谷商工会議所・刈谷市商店街連盟・刈谷市
実施内容	来店促進を図る「レシートラリー企画」
開催期間	11月17日（土）～12月31日（月）（45日間）
有効 応募件数	1, 530枚 (応募総数1, 617枚、無効応募件数97枚)
効 果	商店街集客イベント等による地域経済活性化と、魅力ある個店の育成

(2) 観光振興

①刈谷産業まつり

主 催	刈谷市（商工業振興課）・刈谷商工会議所
実施内容	出展企業による製品・商品の展示及び即売
開催時期	11月3日（土）4日（日）（2日間）
来場者数	26, 000人
効 果	地域商工業者の販売機会創出と認知度向上、地域の賑わい創出

②かりや優良みやげ推奨品

主 催	刈谷市観光協会
対象商品	みやげ品全般 食品・菓子・醸造品・鋳造品・陶磁器・繊維製品・彫塑品・木彫品・民芸品・工芸品 等
認定期間	平成31年3月をもって本事業は終了。

II. 地域経済の活性化に資する取組

【評価】

A	B	C	D
7	2	0	0

【委員のコメント】

- ・雇用創出支援事業内容については特徴的な内容であり素晴らしい。又、中心市街地活性化取り組み内容についても参加事業所の期待度が高い為、是非継続実施を戴きたい。
- ・地元高校との連携は、人材不足に悩む企業に対する大きな支援だと思います。
- ・市内の小規模事業者や中小企業の人手不足は深刻な問題のため、引き続き支援をお願いします。
- ・各事業継続と発展に努めていただきたい。
- ・人材確保は中小企業の経営課題として最も大きなものになっています。是非続けて下さい。
- ・地域活性化や雇用創出など地域の経済活性化に資する取り組みがなされている。
- ・大変良い取り組みである。
- ・継続して下さい。

③刈谷わんさか祭り

主 催	刈谷市（文化観光課）、刈谷市観光協会
共 催	刈谷商工会議所、刈谷市商店街連盟、刈谷市レクレーション協会
開催時期	前夜祭 8月17日（金）17：30～20：30 花火大会8月18日（土）11：00～21：00
来場者数	157,500人
効 果	地域商工業者の販売機会創出と認知度向上、地域の賑わい創出

（3）雇用創出支援

①刈谷合同就職フェア

主 催	刈谷商工会議所・刈谷労働基準監督署・刈谷公共職業安定所
実施内容	働き方改革に取り組む事業所「刈谷合同就職フェア」
開催時期	1月11日（金）13：00～16：00
出展企業	28社
来場者数	求職者136名
効 果	求職者と地元企業の交流による雇用機会創出



②刈谷工業高等学校との連携による「企業合同説明会」

主 催	刈谷商工会議所・刈谷市雇用対策協議会
実施内容	刈谷工業高等学校の高校生・保護者向け企業合同説明会
開催時期	1月29日（火）・30日（水）15：00～17：00
参加人員	高校生71名 保護者15名 計86名
参加企業	25社
効 果	若手人材と地元企業の交流による雇用機会創出



③知立高等学校との連携による「企業合同説明会」

主 催	刈谷商工会議所・刈谷市雇用対策協議会
実施内容	知立高等学校の高校生・先生向け企業合同説明会
開催時期	3月13日(水) 13:30～15:00
参加人員	高校生77名(2年生)
参加企業	23社
効 果	若手人材と地元企業の交流による雇用機会創出



Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

①小規模事業者支援機関連絡協議会の開催

開催日時	5月22日(火) 14:00~15:00
開催場所	刈谷商工会議所 特別会議室
構成メンバー	<p>【支援機関】</p> <p>①刈谷市商工業振興課係長 川口 泰治 刈谷市商工業振興課主査 久米 卓哉</p> <p>②日本政策金融公庫岡崎支店課長 立見 大作 日本政策金融公庫岡崎支店課長代理 浜崎 大</p> <p>③愛知県保証協会経営支援部次長 鈴木 康司</p> <p>④あいち産業科学技術センター産業技術センター 主任研究員 太田 幸伸</p> <p>【中小企業診断士】刈谷モノづくり大学教授 中小企業診断士 照井 清一</p>
テーマ	刈谷商工会議所が取り組む経営発達支援事業について
活用方法	各支援機関間での情報を共有し、各支援機関の強みを活かした小規模事業者支援の実施に役立てる。

②西三河地区商工会議所中小企業相談所長会議の開催

開催時期	7月31日 於：豊田商工会議所 2月27日 於：碧南商工会議所
参加機関	西三河地区商工会議所(岡崎、豊田、刈谷、碧南、安城、西尾)
開催内容	各商工会議所が持っている事業計画策定や計画経営を実践している事業所等、経営支援事業の成功事例の情報共有を行う。
活用方法	情報交換した内容を所に持ち帰り、管内の経営支援事業に活かす。

2. 経営指導員等の資質向上に関すること

①経営指導員情報共有会

開催日	内容	参加者
6月6日	経営分析、需要動向調査の進め方	大塚 S V 市古 由美 安達 拓也 伊藤 良太 大毛 陽介
6月14日	経営分析の進め方	市古 由美 安達 拓也 伊藤 良太 大毛 陽介
6月19日	経営分析、計画書策定、フォローアップの進め方	市古 由美 安達 拓也 伊藤 良太 大毛 陽介

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

【評価】

A	B	C	D
9	0	0	0

【委員のコメント】

- ・会議所の通常業務に加え、能力向上の為の各種研修会等への派遣は素晴らしいと思います。大変とは思いますが、継続を期待します。
- ・各種、研修会への積極的に参加を続けていただきたい。
- ・もっと連携できる点があることに気がつきました。引き続きよろしくお願いします。
- ・経営発達支援事業の円滑化を図るため連携機関等との情報交換等を密に行っている。また中小企業診断士の養成等、指導員の能力向上にも取り組んでおり、評価できる。
- ・他の支援機関との連携は大切なことである。引き続き、情報交換を行い、事業者の経営支援に努めて欲しい。
- ・情報共有を密にできるとよい。

②研修会・セミナーへの参加

開催日	内容	研修テーマ	参加者
3月22日～ 9月28日	中小企業診断士 養成課程	支援者資質向上ほか	杉浦 恭章
6月4日	経営指導員等 応用研修(一般)	国の中小企業施策等	安達 拓也 伊藤 良太
6月8日			市古 由美 大毛 陽介
6月12日	経営指導員等応 用研修(特別)	B C P 策定支援等	市古 由美 大毛 陽介
7月9日		経営革新計画策定等	市古 由美 大毛 陽介
7月23日		軽減税率制度補助金等	伊藤 良太
8月1日		働き方改革等	安達 拓也
8月9日			市古 由美 大毛 陽介
8月30日			事業承継支援等
11月22日		補助員研修	支援者に必要なコミュニ ケーションスキル
12月13日	西三河地区経営 指導員等研修会	戦略マップを使った事業 計画作成支援	杉浦 恭章 大毛 陽介
2月4日～ 2月8日	経営指導員等専 門研修	中小・中堅企業の目利き力 アップ	安達 拓也
8月7日～ 8月10日		新商品開発支援の進め方	伊藤 良太
9月25日～ 9月27日		新規創業の進め方	大毛 陽介

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること 経営発達支援事業評価委員会の開催

開催日時	3月18日(月) 10:00～12:00
開催場所	刈谷商工会議所 特別会議室
構成メンバー	<p>【事業評価委員長】 刈谷商工会議所 副会頭 鈴木 豊</p> <p>【支援機関】</p> <p>①刈谷市商工業振興課係長 川口 泰治 刈谷市商工業振興課主査 久米 卓哉</p> <p>②日本政策金融公庫岡崎支店課長 立見 大作 日本政策金融公庫岡崎支店課長代理 浜崎 大</p> <p>③愛知県保証協会経営支援部次長 鈴木 康司</p> <p>④あいち産業科学技術センター産業技術センター 主任研究員 太田 幸伸</p> <p>【中小企業診断士】刈谷モノづくり大学教授</p> <p>①中小企業診断士 神谷 正仁 ②中小企業診断士 照井 清一</p>